# 1 国営讃岐まんのう公園

https://sanukimannopark.jp/

国営讃岐まんのう公園は、平成25年4月21日の「さぬきの森」の開園により、全面開園を迎えました。春は70品種20万本のスイセンと、36品種3万6千本のチューリップ、秋はコスモスやコキアの紅葉といった季節の花々が園内を彩ります。また、陶芸やパン・ピザ等の各種体験教室、自然生態園やさぬきの森でのガイドウォーク等の通年イベントに加え、季節ごとに楽しいイベントを開催しています。さらに、四国最大級のオートキャンプ場「ホッ！とステイまんのう」では、気軽にキャンプを楽しむことができます。その他、約4haの広大な芝生広場や、巨大エアトランポリン「ふわふわドーム」、複合大型遊具「エックススライダー」等子供たちに人気の遊具も充実しています。

## DATA

**開設面積**：350ha
**所 在 地**：まんのう町吉野4243番地12（総合センター）
**開設年次**：平成１０年４月１８日
**主要施設**：総合センター、ビジターセンター、レストラン、昇竜の滝、芝生広場、風花の庭、レストハウス竜の里、花竜の道、サイクリングセンター、竹風庵（茶房、工房）、ふわふわドーム、ドラ夢の泉広場、大型ネット式ジャングルジム、エックススライダー、体験学習館、満濃池展望遊歩道、見はらしの山展望台、お花見広場、健康広場、ドッグラン、花巡りの丘、ドラ夢ドーム、自然生態観察園、自然生態展示館、さぬきの森、オートキャンプ場　ほか

**お問い合せ先**：まんのう公園管理センター
TEL(0877)79－1700　FAX(0877)79－1705
**交通手段**：高松自動車道・善通寺インターチェンジから車で約25分、徳島自動車道・美馬インターチェンジから車で約40分、JR琴平駅、ことでん琴平駅、岡田駅から車で約15分、琴参バス「琴平駅前」から「美合線（落合橋、三角、川奥行き）」乗車、「まんのう公園口」下車、徒歩約30分
**駐 車 場**：普通320円、大型1,050円、二輪100円
**開園時間**：
3月　1日～　7月19日　9：30～17：00
7月20日～　8月31日　9：30～18：00
9月　1日～10月31日　9：30～17：00
11月　1日～　2月末日　9：30～16：30
**休 園 日**：毎週火曜日（ただし火曜日が休日の場合、当日の火曜日は開園し、翌日の水曜日は休園します。水曜日が休日の場合、前日の火曜日は開園します。）
12月29日～1月1日、1月の第4水曜日～金曜日の3日間
ただし、下記の期間は無休です。
３月20日～５月31日
７月20日～８月31日、9月11日～10月31日
**入 園 料**：おとな　450円、こども（中学生以下）無料、シルバー（65歳以上・団体同）210円、おとな団体　290円
年間パスポート：おとな　4,500円、こども　無料、シルバー　2,100円
駐車券付年間パスポートは、プラス1,020円
※入園料は、平成30年4月1日から試行

## INFORMATION

※おとなは15才以上、シルバーは65才以上、こどもは小・中学生、団体は20名以上です。

**■レンタサイクル利用料**
おとな　2時間　300円（30分ごと追加100円）
こども　2時間　100円（30分ごと追加30円）
マウンテンバイク、2人乗り、幼児用椅子付自転車、電動自転車など

**■オートキャンプ場利用料**
- キャビン：12,050 円～ 26,150 円（キャビン（14棟）、グループキャビン（2棟）、風呂付キャビン（6棟）、コンフォートキャビン（3棟）、トレーラーハウス（1台））
- サイト：1,550 円～ 4,150 円（キャンピングカーサイト（5区画）、一般カーサイト（56区画）、フリーサイト（15 区画））
- 施設維持費：おとな680円（520円）、こども200円（200円）、シルバー440円（440円）（　）内は団体料金

**■お問い合せ先**
オートキャンプ場「ホッ！とステイまんのう」TEL(0877)79－1717

▲オートキャンプ場「ホッ！とステイまんのう」
公園の敷地内に整備された四国最大級のオートキャンプ場。最大106家族を収容することができ、ファミリーや仲間と気軽にキャンプが楽しめます。

国営讃岐まんのう公園は、空海が修築したとされるわが国最大級のため池である「満濃池」を望む丘陵地に位置しており、豊かな自然と空海を生んだ四国の文化的土壌を生かし、「人間との語らい、自然・宇宙とのふれあい」を基本テーマとした、四国で唯一の国営公園です。平成10年4月に中央広場と宿泊施設の一部を開園し、平成14年4月に自然生態園、平成17年3月に満濃池展望遊歩道、平成20年3月に湖畔ゾーン、平成23年4月に健康ゾーンを概成開園しており、平成25年4月21日のさぬきの森の開園により、計画面積350haの全面開園を迎えました。今後も広域レクリエーション拠点のほか、環境の保全と創出、歴史・文化の保存と継承、地域づくりへの貢献等の役割を果たします。

▲昇竜の滝
落差9m、毎分最大65ｔの水量を誇る巨大な滝。大地の割れ目からわき出るような力強い流れと水しぶきは圧巻。

▲公園が誇る大きな花畑
春らんまんフェスタ（3月下旬～5月上旬）ではスイセン、チューリップ、ネモフィラの大規模花修景で園内を彩るほか、ハーブ、木工等の体験教室や、各種イベントを開催。

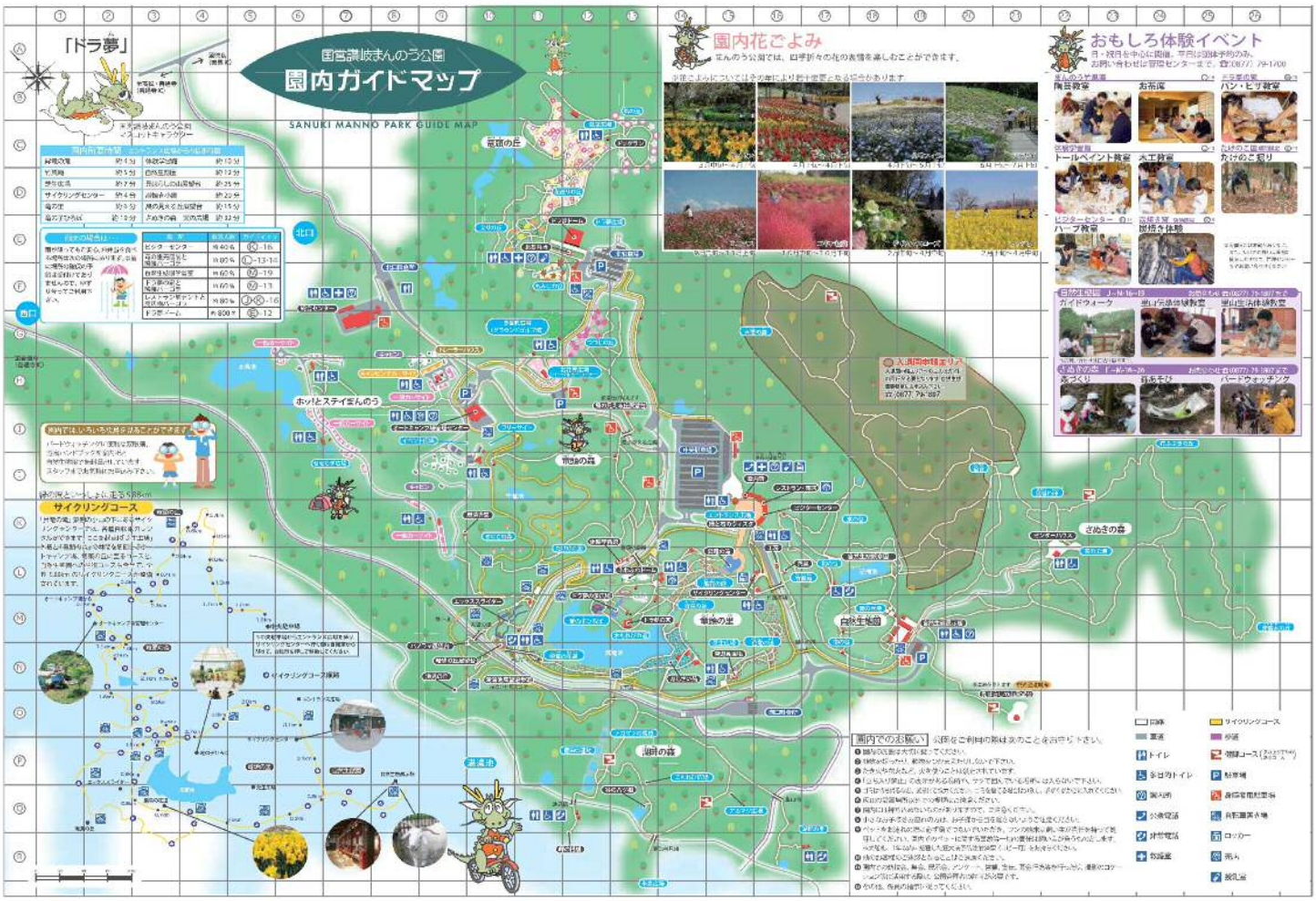
▲自然生態園
なつかしいふるさとの風景「ため池のある里山」の環境を復元したフィールドミュージアム。里山の自然環境を理解するための様々な学習プログラムや「インタープリターボランティア」によるガイドウォークを行っている。

▲さぬきの森
市民協働による讃岐らしい里山再生をテーマとし、自律的に実施する市民協働のボランティア活動を中心に森づくりを進めている。散策路には植物の解説サインを設置し、「インタープリターボランティア」や「さぬきの森の会」による体験学習を行っている。

▲ふわふわドーム
跳んだりはねたりいろいろな楽しみ方ができる四国最大級の大型遊具。雨天でも利用できるよう一部は屋根付きになっている。(**小学生以下限定**)

## 園内の主なイベント情報

▲サマーフェスタ（7月下旬～8月中旬）
カブト虫ランドの開設の他、絵の具等の写生道具の貸し出しや簡単工作等夏休みならではの企画を実施。8月中旬には夜間開園し、コキアライトアップを実施。

▲秋！色どりフェスタ（9月中旬～10月下旬）
花竜の道等で、多品種のコスモスや花巡りの丘でコキアの大規模花修景を展開。週末には大人気の働く車の展示等のイベントのほか、コスモスにちなんだトールペイントやハーブ等の特別体験教室を開催。

▲ウィンターファンタジー
（11月下旬～1月上旬）
エントランスから芝生広場において約60万球のグラウンドイルミネーションやシャンパングラスタワーなどを設置。公園が幻想的な光の世界に包まれる。